

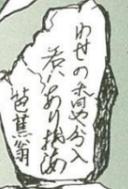
歴史と伝説に彩られた国境の町に親鸞、弁慶、忠敬、芭蕉の足音がこだまする

泊まち歩きMAP

宝ものがひそむ

- ヒスイ海岸
- ヒスイテラス
- タラ汁街道

芭蕉の句碑



「早稲の香や分け入る右は有磯海」
親不知子不知の難所を越えて越中に入った
芭蕉が詠んだ句が刻まれています。

親鸞聖人の杖擲

船皮をはくと、おぼろに
逆を拝する親鸞聖人の
姿を拝することができると
いわれる「マヤキ」
この木と呼ばれています。

身がわり地蔵

横尾トンネル

腰かけ石

承元(一一〇)年
の三月、親鸞聖人が
越後へ向かう途中、
この石に腰掛けられ
たとされています。

ふるさと
移住交流体験施設
さ・郷
ほたる交流館

泊町は親不知の難所と境関所をひかえ
しかも、上街道と下街道の合流点だったので
宿場町として発展しました

1/f ゆらぎ
cafe

泊町が現在地に移転した時、
下町・中町に寺院を集め
門前に月6日の市を設けて
町の発展を図ろうとしました

商店街食べ歩き！
大むら菓子舗「ヒスイ羊かん」
木村豆菓子店「ラジュウム豆」
菓子処みずしま「チーズケーキ」

宿場町の街並

町指定
妙輪寺のさるすべり

室町街道
脇子八幡宮

朝日大手毬

木曾義仲が平家追討のため
京にのぼった時に通った道
木曾義仲や上杉謙信らが
武運を祈願したとされて
います。

温泉町

伊東家・駒峰庵(茶室)

茶室(駒ヶ岳)が望めた
とこから駒峰庵を名付け
られました。

長願寺の菩提樹

タブの木

戦国の世を
みづめていた樹は、
戦国時代の
戦場の

神田町は昔からの
料亭や置屋・検番などが
軒を連ねる芸妓の町です
明治時代「泊貸座敷免許地」という
県の指定を受けたので
「免許地」とも呼ばれて
いました

越中と越後の国境にあり、
旧北陸道の宿場町として栄えた
泊のまちを、
歴史の面影を訪ねながら
私たちあさひガイドグループが
ご案内いたします

洋食屋
グリル松

道下
手作り食堂
颯楽

ナチュラル
スイーツ
ぼんぼん

あいの風とやま鉄道
泊駅 (あいのトキめき駅)

SC.アスカ
アゼリア
ホール

ハーブと喫茶
HYGGE (ヒュッゲ)

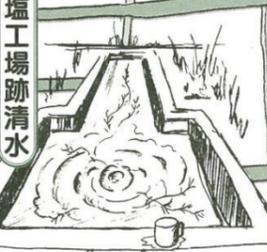
朝日町
移住定住
拠点施設
「こすぎ家」

指もの師
寺田洋子さん
の工房
「カセット」

「まめなげ市場」
朝日のいいもの勢揃い
※毎月第3火曜日
10:30~12:00
マルシェ開催☆

喫茶こみち

そば処
草の子



塩工場跡清水

大屋の浜

舟で直江津へ渡り
信越線で東京へ行く
ための連絡船の発着場
として賑わっていました

東草野

清水

清水町

若草町

あさひ舟川
「春の四重奏」
チューリップ
菜の花、桜並木
残雪の朝日岳
奇蹟の風景☆
善

酒齋楽
くちいわ

明治四十三年に
泊~魚津間に鉄道が
開通し、新橋行きの
岡蒸気が運転されました

【馬場はる】1886年、馬場はるが、富山市東岩瀬の海運業馬場家に嫁ぐ。若くして夫過世を失ったが、家業を守り、子どもを養育し、社会文化事業に貢献した。大正12年、旧制富山高等学校の設立費を寄付し、本県高等教育の振興に尽くした。

【伊能忠敬】江戸時代全国を歩いて測量し、初めて実測の日本地図「大日本沿海輿地全図」を作りました。朝日町では1803(享和3)年に測量しています。

【伊東家】伊東家は加賀藩の命により、代々、十村役をつとめていました。また八代 伊東彦四郎は「豊本新用水」を完成させました。